

高校生議会～住み続けたくなるまち 盛岡市を目指して～



選挙権年齢の引き下げに伴い、若者の選挙や政治、市政への関心を高めることを目的として、11月6日に高校生議会を開催しました。盛岡市立高校、盛岡第二高校、盛岡第三高校、盛岡白百合学園高校から、総勢32人が参加しました。

高校生議員の主な提言

環境問題委員会

- ・学校に給水機を設置し、ペットボトルの削減を促進すること
- ・森と人里との境を明確にし、クマの被害を防ぐこと



高校生議長
土屋 愛佳さん

議長・各委員会インタビュー



環境問題委員長
小平 真治さん

議会と聞いて最初は難しいイメージでしたが、みんなで意見を出し合うことが楽しかったです。周りの意見も聞きながらまとめるのは難しかったですが、いい経験になりました。住み続けたいと思える盛岡になってほしいです。



公共交通委員長
加藤 夏実さん

通学手段であるバスについて、停留所の場所や料金、運行本数、通学通勤時の混雑など、課題解決に向けて議論できました。いろいろな人のニーズと解決方法を突合させることができたと感じたので、生徒会の仕事にも生かしたいです。



児童保護委員会
委員長 長嶋 美樹さん
副委員長 柳瀬 心結さん

議員は話しかけにくいと思いましたが、とても話しやすく、私たちの考えも案として受け入れてくれたり、児童虐待というデリケートな問題が盛岡でもあるという事に寄り添ってくれたりしたことがうれしかったです。



高校生と議員を交えた意見交換を通じて、地域や高齢者と高校生が交流することで、地域を元気にすることができるのではないかという可能性を感じるきっかけになりました。

少子高齢化委員会

- ・地域の運動会などの季節のイベントを復活すること
- ・外国人労働者の受け入れ態勢の整備に対する支援を行うこと



少子高齢化委員長
池野 珠月さん

公共交通委員会

- ・体験系のイベント開催など、運転手という職の魅力を発信すること
- ・自動運転技術などのシステム導入を検討するバス会社を支援すること

人口流出対策委員会

- ・映画のまちとして発展させ、ロケの誘致などで関係人口を増やすこと
- ・観光と教育を合わせることで、郷土愛を深めること

児童保護委員会

- ・電話相談員のプロフィール開示や指名制、夜間時間の対応を行うこと
- ・学校面談の際などで過干渉判定アンケートを配布すること



人口流出対策委員長
福士 恵さん

「住み続けたくなるまち盛岡市を目指して」の取り組みが、他市町村の先例となることを願います。自分自身、起業を考えており、緊張感と真剣さを感じられた高校生議会は、将来に役立つ貴重な経験となりました。

常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、22日の本会議において報告しました。

総務常任委員会

7年度一般会計補正予算、盛岡市地区活動センター条例の一部改正など議案13件について審査し、最終日の本会議において撤回が承認された議案2件を除く11件については、いずれも可決すべきものと決まりました。また、請願1件を審査し、不採択とすべきものと決まりました。

【議案第108号】 盛岡市宿泊税条例について

問 具体的な活用方法を示すことで宿泊税徴収に一定の理解が得られると思うが、具体的な考えは。

答 観光推進計画に基づき、観光資源の魅力向上と来訪者の増加に資する事業への活用を検討している。一人200円の税額だが、修学旅行には体験や宿泊料に対する助成などで税額以上の還元を検討しており、具体的な活用方法を示した上で学校や旅行会社に周知を図り、使途を毎年度公表していく。

教育福祉常任委員会

7年度一般会計補正予算など議案19件について審査しました。審査の過程で、施設の特性に応じた使用料見直しの考え方などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。また、新規請願3件および継続審査中の請願1件を審査し、いずれも採択すべきものと決まりました。

【議案第135号】 盛岡市公民館条例の一部を改正する条例について

問 公民館を含めた施設の使用料について、施設運営にかかる経費と使用料収入を対比した乖離率を一律に用いて見直しをしているが、施設の特性に応じた取り扱いが必要では。

答 今回の見直しは、全序的な方針により乖離率に基づいて行ったが、今後の見直しにおいては、施設の設置目的や入館者数の推移などの利用者ニーズを踏まえて判断していく。

もりおか mirai おでかけミーティング

11月14日に岩手県立大学、11月18日に盛岡大学、11月20日に岩手大学で「もりおか mirai おでかけミーティング」（通称「もりみらい」）を開催し「住み続けたくなるまち盛岡市を目指して」をテーマに大学生と意見交換を行いました。

高校生議会やもりmiraの当日の様子や詳細は、市議会ホームページにも掲載しています。



高校生議会

もり mira

岩手県立大学



○参加者 学生11人 議員15人



友達に誘われ気楽に参加しましたが、自分の意見を否定されること無く発言できました。相手の意見で自分の考えも深まり、参加して良かったです。またこのような機会があれば、多くの参加になるよう広めていきたいです。
岩手県立大学 石橋 明士睦さん

まちづくりに興味があり参加しました。小中学生の頃から議員に関わる機会を増やすことで、政治を身近に感じやすく、市民意見が反映しやすいまちづくりにつながるのではないかと感じました。
岩手県立大学 上田 飛陽さん

盛岡大学



○参加者 学生29人 議員15人



議員の皆さんのが学生の意見をしっかり聞いてくれる機会を得られたことはうれしく、また、自分の意見を反映できたことが、貴重な体験でした。議員の皆さんには、交通施策など、学生の学習環境の整備をお願いしたいです。
盛岡大学 前川 瑞衣さん

議員も一市民として、盛岡が住み続けたくなるまちとなることを願っていることを知ることができたと同時に、市のために行行動できていない自分に気付きました。来春からは、行動する教員として、子どもたちと一緒に頑張ります。
盛岡大学 西川 淳希さん

岩手大学



○参加者 学生17人 議員14人



市内の文化的史跡が活用や保存されずに残念だと感じているので、議員に直接要望したい気持ちがあり、良い機会となりました。市民が史跡を知って大切にし、楽しむ盛岡になって欲しいと思います。
岩手大学 千田 慶祐さん

市の課題や自分たちができるを考えるきっかけになり、議員と学生で意見交換する機会はとても大事だと思いました。今回出された学生の意見を市議会で考えてもらえたいいなと思います。
岩手大学 南田 峻輔さん

産業環境 常任委員会

7年度一般会計補正予算など議案36件について審査しました。審査の過程で、余熱利用健康増進センターゆびあすと他施設で減免の取り扱いが違う理由などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。また、請願1件を審査し、不採択とすべきものと決まりました。

【議案第113号】 盛岡市余熱利用健康増進センター条例の一部を改正する条例について

問 市内他施設では一律に使用料の改定と高齢者の減免を廃止するが、余熱利用健康増進センターゆびあすだけは減免の廃止を行わない理由は。

答 ゆびあすは、ごみ焼却で発生する熱を温水や施設の冷暖房に活用しており、施設の稼働率が向上することで余熱の有効利用が進むという施設の特殊性を考慮し、65歳以上の高齢者の減免と無料解放日の存続を決定した。

建設 常任委員会

7年度一般会計補正予算、盛岡市旧覆馬場活用交流施設条例の一部改正など議案10件について審査しました。審査の過程で、盛岡ふれあい覆馬場プラザの市の区域内に住所などを有しない者の使用料の改定の検討経過などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第114号】 盛岡市旧覆馬場活用交流施設条例の一部を改正する条例について

問 盛岡ふれあい覆馬場プラザの使用料改定後の市外在住者の使用料は実質3倍だが、値上げの影響について市外在住者へ聞き取りなどの取り組みは。

答 アンケートなどは行っていない。6年8月策定の使用料・手数料の見直しに関する基本方針とのつとり、全序的に統一した手法により見直しを行った。使用料の見直しは、利用者の声も聞きながら、適正な料金設定に努める。